

連合岩手釜石・遠野地協

NEWSLETTER

連合岩手釜石・遠野地域協

NEWSLETTER 第 48 号

発行人 小島 安友

編集人 菊池 利行

2024.12.12 発行



小島議長からの決意の挨拶



伊藤会長から激励の挨拶



盛り上がったお楽しみ抽選会

連合岩手釜石・遠野地域協議会36周年次大会は釜石PIRTを会場に午後6時30分開会。来賓として、伊藤裕一連合岩手会長、三浦一泰釜石市議、菊池秀明釜石市議、小松正真遠野市議、長谷川竜一・東北労金釜石支店長、長崎達雄・こくみん共済○○○支所長、今野徹平和环境釜石地方労

センター議長、村上稜釜石地区友愛会会長に出席いただきました。集会の冒頭、連合岩手釜石・遠野地域協議会の小島議長が挨拶、格差や貧困の連鎖を招かない運動の拡大、組織強化、そして春闘の大切さを訴えました。加えて、国政選挙の結果を踏まえた闘いの継続を述べました。

また、大久保隆規県議、小野共釜石市長、多田一彦遠野市長からは、連帯とお祝いのメッセージが届けられました。今年度の当地協のテーマは、「地域の労働者・生活者の雇用と生活の安心・安定」と「地域づくりへの貢献」です。この基本的な考えを軸にした活動の展開及び新役員体制、地協運営規約の改正等が承認され、新年度の活動が始まりました。青年委員会によるお楽しみ抽選会も行われました。

2024年11月19日(火)、「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう」仲間の輪を広げ安心社会をめざす」を大会スローガンに「第36周年次大会」が釜石PIRTで開催されました。

ともに歩もう、ともに変えよう
仲間の輪を広げ安心社会を!!
第36回釜石・遠野地協年次大会開催



力強い、団結頑張りよう!

釜石・遠野地協女性青年委員会第3回定期大会開催

若者の力で希望のもてる職場づくりを議論



遠藤事務局長による提案
後ろは山口大会議長

12月6日(金)釜石教育会館で釜石・遠野地協第3回女性青年委員会定期大会が開催されました。当日は定数を満たす参加があり、2つの審議事項は全て可決されました。2025年度の運動方針は、「共に女性青年委員会の必要性を理解し連帯を取り、一歩ずつ確実に活動を進めて行きましょう!」釜石・遠野地域協議会の行事に積極的に参加し、青年の仲間の輪をひろげていきましょう!」の2つです。多くの若者の結集で、楽しくそして、有意義な活動をめざしていきます。本大会で今年度の新役員も決まりました。新委員長は、熊野善人(岩教組南リアス支部釜石・大槌支会)、副委員長は佐々木拓也(日鉄テックスエンジニア)、事務局は、徳田大地(県職労釜石支部)です。3年目の活動が始まりました。

3年目のスタート!!!



「2024年10月27日」から

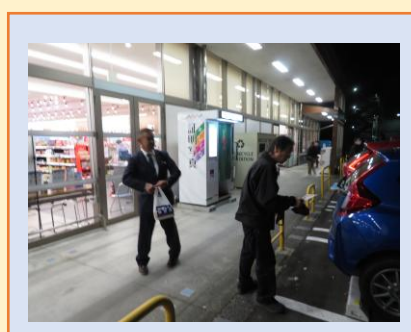
岩手県の地域別最低賃金は **952円(時給)**



釜石・遠野地区で街宣及びちらし配布行動を実施

遠野 / キクコー明神前店前

釜石 / マイヤ釜石店前

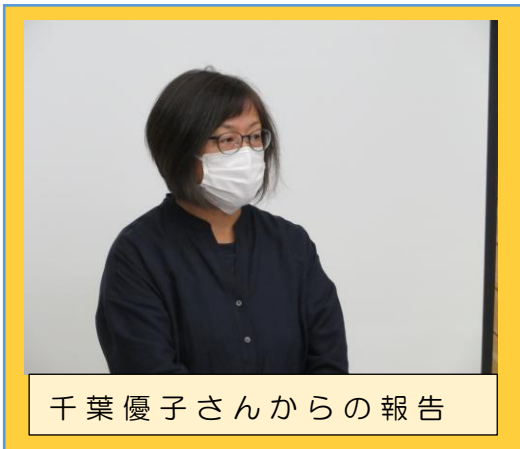


10月28日(月)の18時からキクコー明神前店前でちらし配布行動を行いました。J.P.労組の高橋さん、岩教組の石井さん、遠野市議の小松さん、菊池事務局長が来店する方々に声をかけながら、配布をしました。小松市議からは、「遠野市の労働環境の改善の一助になれば」という発言がありました。訴えは続きます。

10月28日(月)の18時からマイヤ釜石店前でちらし配布行動を行いました。県交通労の山崎さん、岩教組の山影さんが来店する方々に声をかけながら、配布をしました。日暮れ時の行動でしたが、「働き方を訴え、最低賃金をめざす」行動になります。



山口将司さんからの報告



千葉優子さんからの報告

11月8日(金)に釜石教育会館にて「平和に関する学習会(平和の旅の報告)及び議会報告が行われました。この集会は、地協の女性青年委員会が主催となり、企画・実行したものです。18人の参加があり、前半は、平和学習会

釜石地区平和学習会及び女性青年委員会主催行事 議会報告会

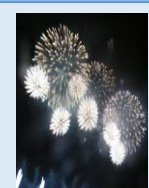


大久保隆規県議からの報告 左は今野徹釜石地方労平環議長

後半は、議会報告会という二部構成で実施されました。前半は、山口将司(日鉄労組)さんと千葉優子(岩教組南リアス支部)さんからの報告があり、今の広島の状況や「平和の語りべ」から伝えられたリアルなエピソードが紹介されました。後半は、連合推薦県議会議員の大久保隆規さんから県議会の様子、特に釜石港の利子に関する案件について詳しく報告がされました。若者たちからの質疑もあり、地域を学ぶ機会になりました。



清掃ボランティアに集まった各地協のメンバー。



10月1日4(月)に陸前高田市の高田松原海岸付近で、三陸花火大会「夢のカケラ拾い」が実施されました。県下地協の青年委員会を中心に約30人が集まり、前日の三陸花火大会の余韻に浸りながら、気持ちのよい汗を流しました。活動しながら、他の地協の仲間との交流もあり楽しく有意義な時間になりました。前日の花火は、音と光の芸術を近距離の特等席での鑑賞会でした。来年も実施が予定されています。多くの仲間の結集を求めます。

連合岩手地協事務局長 懇談会 クリーンキャンペーン 三陸花火大会「夢のカケラ拾い」を実施